

財政健全化集中取組期間における取組状況

障害福祉サービスや介護保険事業などの法定化された義務的経費が増加傾向である一方、市税や普通交付税などの一般財源が減少傾向にある中、近年の原油価格高騰や電気料金の高騰、人件費や委託料が上昇傾向であることなど、今後ますます厳しさが増すことが予想されます。

加えて、令和4年8月3日からの大雨災害にかかる災害復旧事業の借入金の返済が令和8年度から本格的に始まることから、令和6年度から8年度までの3年間で「財政健全化集中取組期間」と位置づけ、徹底的に歳入・歳出の見直しに取り組んでいくこととします。

▼ 財政健全化の目標と成果指標の設定

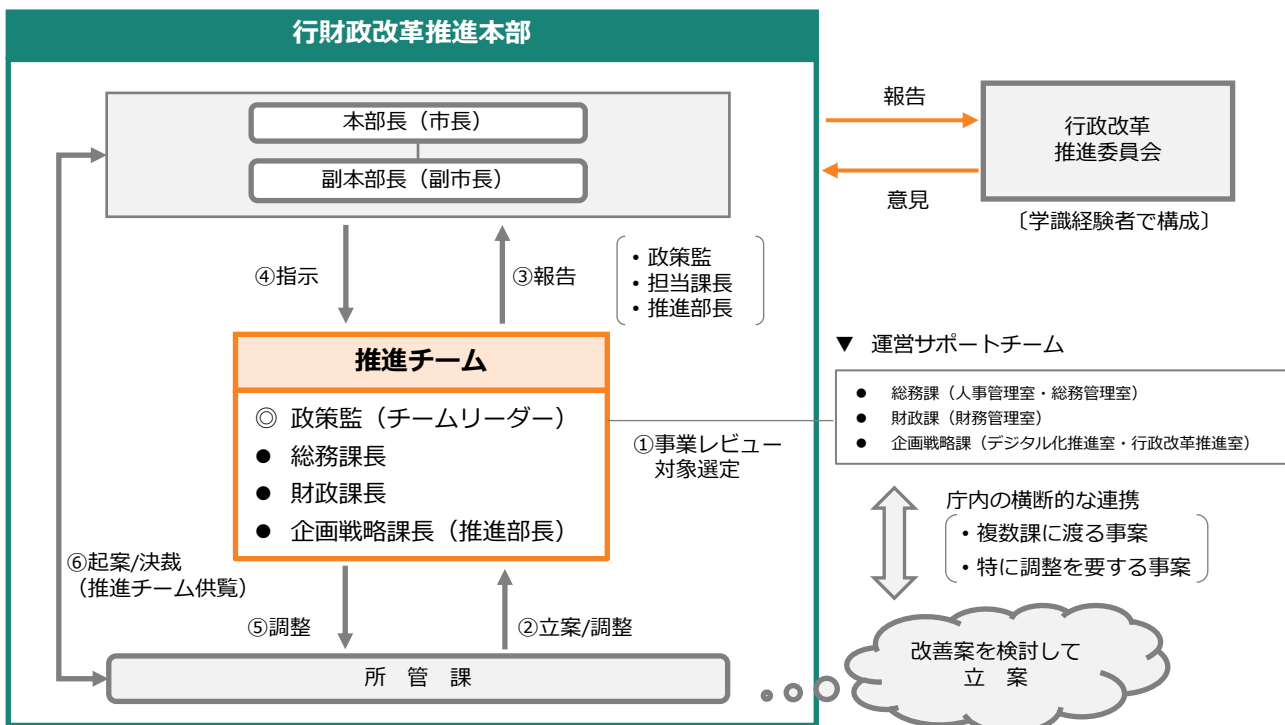
● 財政健全化の目標

中長期的に見て、一定の財政調整基金を確保しつつ、単年度の収入と支出のバランスを確保する。※「行政改革大綱2022」抜粋（P7）

● 成果指標

- | |
|--------------------|
| ① 実質単年度収支の均衡を図る。 |
| ② 財政調整基金を22億円確保する。 |
| ③ 減債基金を12億円確保する。 |

▼ 推進体制の確立



▼ 全職員を対象とした説明会を実施

4/23 (火)	4/24 (水)				4/26 (金)	
本庁舎	荒川支所	神林支所	朝日支所	山北支所	本庁舎	WEB
大会議室 ① 9:30 ② 10:45		大会議室 ③ 9:30 ④ 10:45	第一会議室 ⑤ 9:30 ⑥ 10:45			
	研修室 ⑦ 14:00 ⑧ 15:15			会議室 ⑨ 14:00 ⑩ 15:15	大会議室 ⑪ 13:15 ⑫ 14:30 ⑬ 15:45	各会場WEB ⑪ 13:15 ⑫ 14:30 ⑬ 15:45
〔参加者数〕 119人	16人	60人	33人	30人	99人	50人

〔内容〕 ※ このほか、都合がつかなかった職員はアーカイブで視聴 **〔合計〕 407人**

1. 取組趣旨、健全化の必要性

2. 財政収支見直し

3. 財政健全化集中取組期間の取組方針

4. 改善アイデア出し
- 政策監

財政課

企画戦略課

説明会参加者

▼ 財政健全化のための職員アイデア募集

1. 職員ポータルサイトで募集（3月）	60人	112件
2. 職員説明会で募集（4/23・24・26）	407人	963件
3. 職員説明会（アーカイブ参加者）	一人	62件
		〔計 1,137件〕

▼ 事業レビューの選定

【part 1】令和6年5月17日選定

- ① 広告料収入の発掘による自主財源の確保

② 支払方法、収納方法の回数集約による事務効率化と公金収納及び取扱手数料の縮減

③ 市税、保育料、上下水道料、住宅使用料等の収納率向上

④ Jクレジット販売（市行造林活用、市有林の間伐等）

⑤ 基金の債券による運用、運用の複数年化

⑥ 不要物品の販売

⑦ 庁用車管理の効率化

⑧ 各支所の休日夜間警備体制の見直し

⑨ ふるさと納税の推進による歳入拡大

⑩ 遊休、未利用の市有地の有効活用

⑪ マイクロソフトofficeをジャストofficeに変更

⑫ 道路照明、防犯灯、施設等のLED化

⑬ 広報誌の見直しと情報発信の強化

⑭ 公民館、体育館などの文教施設の開館日及び開館時間の見直し

⑮ 公共施設の使用料、減免基準の見直し

⑯ 上下水道料金の改定

⑰ 廃棄物処理手数料及びごみ袋等取扱手数料の見直し

⑱ 窓口サービス改革

【part 2】令和6年7月11日選定

- ⑲ 児童館機能の子育て支援センターへの集約

⑳ 小学校水泳授業における市が所有するプールの利活用

▼ 取組成果

- **公共施設マネジメントプログラムの取組**（令和5年度末現在）

- ・ 廃止、用途廃止済 23件
- ・ 用途変更、移譲、貸借 5件
- ・ 検討対象から現状維持に決定 21件

- **ペーパーレスの取組**

コピー用紙の使用枚数について、対前年比△10%を目標に、内部の事務連絡や情報共有、会議などでのペーパーレスに取り組んでいる。

- ・ 令和5年6月と令和6年6月との比較 △36.7%

- **本庁・支所の庁舎管理体制の変更**（令和6年10月～）

各支所の休日夜間の警備員の常駐を廃止。機械警備のみに見直す。

- ・ 改善効果 年間 2,480万円

- **基金の債券による運用、運用の複数年化**

市の保有する基金を、定期預金のほか債券による運用を開始（令和6年6月～）

- ・ 改善効果 540万円（令和6年度見込み）